

第 330 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社) 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

LC 及び LC/MS における分析メソッドの開発には、あらかじめサンプル特性の把握、目的の対象物質に合わせた前処理方法の検討、分離モードの設定、検出器を選択し、さらに実際に移動相や流量、カラム温度といったパラメータの最適化を実施するなど、いくつもの検討が必要です。経験や試行錯誤によりアプローチしている面がありますが、本例会ではより効率的なメソッド開発のアプローチ方法などについて、各講師よりご講演いただきます。

期日 2018 年 12 月 13 日 (木) 13:00~17:00

会場 (株)日立ハイテクサイエンス サイエンスソリューションラボ東京

[東京都中央区新富町 2-15-5 RBM 築地ビル, 電話: 03-6280-0068, 交通: 東京メトロ有楽町線新富町駅より徒歩 1 分 (5 番出口利用), 東京メトロ日比谷線築地駅より徒歩 4 分 (4 番出口利用), JR 京葉線, 東京メトロ日比谷線八丁堀駅より徒歩 8 分 (A3 出口利用)]

https://www.hitachi-hightech.com/hhs/about/corporate/location/science_solutions.html

講演主題 LC 及び LC/MS における分析メソッド開発の手引き

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00~13:05) (株)日立ハイテクサイエンス 清水克敏

1. LC-MS/MS を用いた食品分析法の開発 (13:05~13:35)

((一財) 日本食品検査) 橋田 規 (LC 分析士二段、LC/MS 分析士四段)

2. 2D-LC におけるメソッド開発 (13:35~14:05)

(アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷浩樹 (LC 分析士四段、LC/MS 分析士二段)

3. 固定相を変える? 基材を変える? カラム選択のコツ (14:05~14:35)

(Restek 日本支社) 海老原卓也 (LC 分析士二段)

4. もう一度基本から始める前処理メソッドの作り方 (14:35~15:05)

(バイオタージ・ジャパン(株)) 加藤尚志 (LC 分析士三段、LC/MS 分析士初段)

休憩 (15:05~15:20)

5. メソッド開発にも役立つ逆相固定相の種類の違いによる分離特性 (15:20~15:50)

(株)クロマニックテクノロジーズ) 長江徳和 (LC 分析士二段)

6. LC メソッド頑健性の評価検討 (15:50~16:25)

(株)日立ハイテクサイエンス) 清水克敏 (LC 分析士二段、LC/MS 分析士初段)

7. 総括 「LC 及び LC/MS における分析メソッド開発の手引き」 (16:25~17:00)

(東京理科大学) 中村 洋 (LC 分析士五段、LC/MS 分析士五段)

参加費 LC 研究懇談会会員: 1,000 円、協賛学会 (日本分析化学会、日本薬学会、日本化学会) 会員: 3,000 円、その他: 4,000 円、学生: 1,000 円 参加費は当日申し受けます。申し込み締め切り後の参加費は、すべての種別で 1,000 円増額となります。

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します。(会費 4,000 円) 参加希望者は必ず事前にお申込みください。申込締切後のご参加は、当日欠員が生じた場合に限って受け付けます。参加費は当日申し受けます。

申込締切日 2018 年 12 月 6 日 (木)

申込方法 参加希望者は、氏名、勤務先 (電話番号)、LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記の上、FAX または E-mail により下記あてにお申込みください。参加証は発行いたしませんので、直接会場にお越しください。(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)

申込先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田ハイツ 304 号

(公社) 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

(電話: 03-3490-3351、FAX: 03-3490-3572、E-mail: kondankai-hp@jsac.or.jp)